学校番号	315

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「文学国語」　（数研出版）						
副教材等	新総合図説国語（東京書籍） 大学入試に出た核心漢字 2500＋語彙 1000（尚文出版） 現代文攻略　読む！問題集 小説 解答編付（明治書院） 力をつけるシリーズ　文学読解 Plus						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書の文章を中心に文学作品を味わって読む姿勢を大事にしましょう。
・古典的名作から最新の現代小説まで、文学鑑賞の幅を広げましょう。
・時代背景を踏まえて、文学の変遷を見渡しましょう。
・重要語句や文学的な語句の意味を理解し、分かりやすいノートづくりをしましょう。
・辞書、参考書、問題集を使いこなして読解に役立てることができるようになりましょう。
・国語便覧や、インターネットを頻繁に利用し、わからないことを自分でまず調べましょう。
・問題演習については、予習として語句の意味調べを課し、問題をあらかじめ解きましょう。

2　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、古今東西の名作を通して、確かな読解力と豊かな鑑賞力を養う。
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・文学的な言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
・問題演習を通してさまざまな文章に触れ、語彙力を高め、大学入学共通テスト等に対応できる実力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

点観	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めるようとしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、文学作品に対して深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	文学的な言葉を通じて他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	・「十八歳のときに経験した奇妙な出来事」を二つに分けてまとめる。 ・「人生のクリーム」とは、どのようなものかを考える。 ・「ぼく」の考えの経緯を説明する。 ・「中心がいくつもあって、しかも外周を持たない円」とは、どのようなものかを話し合う。 ［教材］平成の小説/クリーム	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c：「中心がいくつもあって、しかも外周を持たない円」の意味を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	・本文を三つに分けて、「おれ」が置かれている状況をそれぞれまとめる。 ・「だが、家が出来ても、今度は帰ってゆくおれがいない」とは、どういうことかを考える。 ・この作品に込められた寓意は、どのようなものかを話し合う。 ［教材］昭和中期の小説/赤い繭	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c：作品に込められた寓意を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	・「私」の置かれている状況とその心情を、場面を区切ってまとめる。 ・「私」が奇怪と感じている点を説明する。 ・「私」の行く先々で上がる「野火」は、「私」にどのような心情をいだかせたか、場面を区切ってまとめる。 ・極限状態の中であらわにされる人間性について考え、「よりよく生きる」とはどのようなことかを話し合う。 ［教材］昭和中期の小説/野火	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	・「わたくし」の「いもうと」に対する心情変化を整理する。 ・他の詩も合わせて読み、宮澤賢治の妹への心情や兄妹のつながりについて、感じたことを話し合う。 ［教材］詩歌/永訣の朝	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[書]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：宮澤賢治の妹への心情や兄妹のつながりを粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度

二学期	・「私」の心情の変化を時系列に沿って整理する。 ・人々にとって「件」は、どのような存在だったかを考える。 ［教材］大正の小説/件	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合おうとしている	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	・豊太郎の置かれている状況を四つに分け、それぞれの時期で豊太郎が望んでいた生き方をまとめる。 ・豊太郎の「弱くふびんなる心」は、彼のどのような生き方に表れているかを考える。 ［教材］明治の小説/舞姫	a：人間、社会に対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[書]：設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：登場人物の人物像について時代背景などを踏まえて考察し、これまでの学習を生かしてまとめようとしている	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	・藤野先生が「私」に行った指導についてまとめる。 ・作品中の時や場所が指す具体的な時・場所を考える。 ・「私」の考えは、何によってどのように変わったのかを考える。 ・現在の「私」にとって、藤野先生はどのような存在かを説明する。 ・藤野先生の抱いていた思いと、それに対する、自分の意見を発表する。 ［教材］海外の小説/藤野先生	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って意見を発表しようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
三学期	・「門番」の人物像をまとめる。 ・「男」の「一つの問い」が、「これまでのあらゆることが凝結」した問いと表現されているのはなぜかを説明する。 ・「掟の門」とは何かを話し合う。 海外の小説/掟の門前	a：人間、社会に対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c：「掟の門」が象徴するものを本文の内容や人物の心情から考察し、話し合おうとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	・登場人物や読者は、「父」についてどのような情報を持っているかを整理する。 ・「父」が家出をしてからの家族の生活状況はどのようなものであったかを整理する。 ・この作品の結末部について、どのような感想を持ったかを話し合う。 ［教材］戯曲/父帰る	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：考えを整理して作品の結末部に対する感想を述べ、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度

・それぞれの歌について、句切れやリズムに注意しながら、声に出して読む。 ・それぞれの歌で工夫された表現を確認し、感動の中心はどこかを考える。 ・印象に残った歌を選んで、鑑賞文を二百字程度で書く。 ・自分の心情を限られた文字数で表現する。	a:語彙を豊かにし、表現上の特徴や技法を理解している。 b[書]:文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:文章のテーマを理解し、的確な表現ができる。	ワークシート 小テスト	ワークシート ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
[教材]詩歌/短歌				

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　20　)時間

・読むこと　…　(　50　)時間